

でんでら通信 第四百十一号 令和八年二月

令和八年二月十五日

涅槃会 (ねはんえ)

お釈迦様がお亡くなりになられた日

本堂に絵図を掲げますのでどうぞお参りください。

坐禅会

二月二十三日(祝) 十時より

みなさんのご参加お待ちしております。

春の永代供養会

三月四日(水) 午後二時より行います。

法話には、本山布教師 大阪府堺市 永元寺住職

池田織隆師です。

みなさんご参詣ください。

興祖微妙大師六百五十年遠諱団参

三月十一日に計画しております本山日帰り団体参拝は、おかげさまで二十八名の参加申し込みがありました。禅林寺の代表としてお参りに行ってまいります。

なお、参加者の方に連絡ですが、参拝記念品を選ばれた方が、輪袈裟ということなのでご了承ください。

お配りした大般若札

先日、檀家様にお配りしました大般若札について、何軒か、この札はどうすればいいのでしょうか？との問い合わせがありましたので、回答させていただきます。

大般若札は、今年一月十二日に当禅林寺で祈禱いたしましたお札です。主に家内安全や無病息災、災厄消除を祈願する護符です。仏教の経典『大般若経』全六百巻を読誦(転読)する大般若会で祈禱されます。この経典の功德によつて、家に入ろうとする様な災いや悪魔を退け、人々の願いを叶えて幸せに導く「魔除け」としての意味合いが強いお札です。

貼る場所は、家の入口や玄関の中で、清浄で高い場所にお祈りします。魔除けとして機能するよう、家の出入り口付近が一般的です。

今まで貼られていた古いお札は、禅林寺の本堂内のさい銭箱の横に「古いお札、塔婆入れ」という箱がありますので、そこにお入れください。

禅林寺会計報告から

一月十二日総代様、年行事様により令和七年禅林寺会計決算報告、令和八年禅林寺予算案について審議いただき、無事に了承されました。(別添)

三年に一度の総会がない年には、総代様、年行事様に審議いただいております。令和七年会計決算については行事費が増えました。これは毎年行っている大般若祈禱会のお札を大量発注したことによるものです。大般若祈禱会は、禅林寺会計にて実施して

いるもので、そのお札を購入し檀家様に配布しております。(発注枚数が多いほど割安になるので予算以上に購入しました)

また、墓地管理会計につきましても審議いただきました。令和七年につきましては、大きな支出はなくほとんどが積立てとなりました。

世間では檀家離れ、仏壇じまい、墓じまいという話を聞きます。禅林寺においても、昨年2件の檀家様が仏壇じまい、墓じまいを行い、離れました。寂しいかぎりでありませぬ。

後を継ぐ方がみえない、後を継がれる方が他の宗教を信仰している、遠方で暮らして実家と縁遠くなっている、宗教に対して信仰心がないなど、様々な理由で檀家の減少が考えられます。禅林寺の会計も今までのように予算通りには集金できなくなつて来るやもしれませぬ。そうなれば、当然のことながら、諸堂の維持管理、行事にも支障が出てくることになってくるでしょう。檀家制度の崩壊も叫ばれています。

社会の全般にわたり今後は少子化の波が押し寄せ、生産、消費に変動が起こり、業界、会社、団体など継続、後継問題は大きくなつてくることでしょう。

現在、衆議院の選挙期間中でありませぬ。物価高騰の経済問題、消費税減税、移民、外交問題、すべては今後の人口減少をふまえて考えていかねばなりません。将来の日本の舵取りもますます難しくなつてきます。そして寺院運営も難しくなつてくることは必然です。

思案のしどころです。みなさんのお考えもお聞かせください。